

## 訪問者の成績内容について

### 1 愛知県立大学

団 体 名	<p>ALEQ (アレク) ※          代表者：竹内 茜 (たけうち あかね) &lt;22歳&gt;          (外国語学部 英米学科 3年)          始め 16名</p>
成 績 内 容	<p>○ドイツの博物館において廃棄物を原料とした和紙を作成するワークショップ活動を実施し、日本文化を発信。また、「SDGs AICHI EXPO 2023」において活動を報告。</p>
備 考	<p>○愛知県立芸術大学の学生と共同で、2023年9月9日～10日にドイツのパッサウにあるオーバーハウス博物館の一角を借りて、古紙や果実の皮、鳥の羽根などの廃棄物を原料として漉いた紙で「うちわ」、「和綴じ本」、「折り紙」を作成するワークショップを実施し、和紙を作る日本文化と廃棄物の有効活用について、ドイツ語で紹介するという活動を行った。</p> <p>○ワークショップの実施に当たっては、和紙という日本伝統文化を単に伝えるだけでなく、廃棄物を用いた和紙に着目し、リサイクルという概念に関連付けて、いかに日本、そして、愛知の伝統文化が芸術面だけでなく環境にもやさしいかを伝えることを目標に掲げるとともに、外国語能力の高い外国語学部生の特質を活かして、「外国の人に、どのように伝えればうまく伝わるか」という課題を掲げて取り組んだ。</p> <p>○そうした工夫もあり、ワークショップのアンケート調査を実施した結果、環境意識の強い現地の人々にも、和紙の貴重さと環境への優しさが高く評価されたことが分かった。</p> <p>○本取組は、読売新聞の取材を受けた。(2023年9月19日(火)朝刊県内版に掲載)。</p> <p>○更には、2023年10月7日(土)に愛知国際展示場で開催された「SDGs Aichi Expo 2023」に参加し、上記取組を報告した。</p> <p>※「ALEQ」(アレク)          愛知県立大学・愛知県立芸術大学の学生による同好会。日本、特に愛知の文化を世界へ伝える活動を行い、産官学で連携した企画考案をすることを通じて、実践的なスキルを身に付けて成長することを目的としている。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ALEQという名称には、              “Aichi Prefectural University (愛知県立大学)”              “Large Campus (キャンパス外での広い活動)”              “Expanding (日本・愛知のものを広める)”              “Quest (自分たちの力で探求する)”              という意味が込められています。</p> </div> </div>

団 体 名	<p>2022～2023 年度村田ゼミ</p> <p>代表者：塚腰 悠夏（つかごし ゆうか）＜22 歳＞</p> <p>（教育福祉学部 社会福祉学科 4 年）</p> <p>始め 5 名</p>
成 績 内 容	<p>○子ども虐待防止の啓発活動である「オレンジリボン運動」活動を行い、全国大会で報告。</p>
備 考	<p>○村田ゼミでは、2015 年度より特定非営利活動法人「児童虐待防止全国ネットワーク」が主催する「学生によるオレンジリボン運動」（※1）に継続的に取り組んでいる（活動 6 年目）。</p> <p>○これまでの活動実績と日頃のゼミでの学習成果を踏まえて、子ども虐待認識度調査や学内学習会、高校生向け学習会等を実施するとともに、オリジナルの啓発グッズの作成・配布・展示、大学祭での活動紹介、大学図書館とのコラボなどを実施し、在校生だけでなく学外に向けても積極的に子ども虐待防止の啓発活動を展開した。</p> <p>○そうした取組の結果、「学生によるオレンジリボン運動」の活動結果を発表する全国大会（※2）において、最終選考に残った 4 校のうちの 1 校として報告した。</p> <p><b>（※1）学生によるオレンジリボン運動</b></p> <p>近い将来親となる若者に対する児童虐待防止に係る啓発の一環として、学園祭等において学生により行われる児童虐待防止のための啓発活動。当初は厚生労働省により実施されていたが、2015 年度から、オレンジリボン運動の総合窓口を担う特定非営利活動法人「児童虐待防止全国ネットワーク」により実施されている。</p> <p><b>（※2）活動結果を発表する全国大会</b></p> <p>2023 年 2 月 19 日（日）にオンラインにより開催された。同活動に取り組んだ全国の大学・専門学校（全 63 校）の中から選考され、活動報告を行った。</p>

## 2 愛知県立芸術大学

氏 名	五月女 かおる（そうとめ かおる）＜27 歳＞
所 属 等	大学院美術研究科 博士前期課程 美術専攻 彫刻領域 2 年
成 績 内 容	<p>○「KEAT <sup>こいさご</sup>小砂環境芸術祭 2023」で「観光協会長賞」を受賞。</p> <p>○『六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 「beyond」』で「公募大賞グランプリ」及び「兵庫県神戸県民センター長賞」を受賞。</p> <p>○「第 18 回 CBC <sup>はばた</sup>翔け！二十歳の記憶展」でグランプリ受賞。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>KEAT小砂環境芸術祭2023 出品作品《食事の風景》</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第 1 8 回 CBC 翔け！二十歳の記憶展 出品作品《うろつく雑種犬 the dog series 》</p> </div> </div>
備 考	<p><b>【KEAT 小砂環境芸術祭 2023】</b> 日本の森林等の美しい環境や景観の存在への関心を広く一般市民に喚起することや、これらの芸術活動に参加する若手を中心とした美術家・芸術家を支援すること等を目的として、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合から認定された<sup>なかがわまち</sup>栃木県那珂川町小砂地区の豊かな森林資源を生かし、里山全体を美術館－表現の現場とし「里山とアートの関係性」を提示するアートプロジェクト。KEAT とは「Koisago Environmental Art Triennale」の頭文字をとった略語。</p> <p><b>【六甲ミーツ・アート芸術散歩 2023 「beyond」】</b> 2010 年から、神戸・六甲山上で毎年秋に開催される現代アートの芸術祭。14 回目の開催にあたる本祭においては、テーマを「表現の向こう側（にあるもの）Beyond Representation」として、既存の価値観にとらわれず新しい価値観の提示や再解釈を通じて、社会との接続や共生を試みる表現者各位の作品とその先にあるものに目を向ける芸術祭を目指している。</p> <p><b>【第 18 回 CBC 翔け！二十歳の記憶展】</b> CBC テレビ、CBC ラジオが主催する、地元の愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学の 3 大学及び大学院生の作品を審査展示する若手アーティスト応援企画。</p>

氏 名	丹羽 菜月（にわ なつき） <32 歳>
所 属 等	大学院音楽研究科 博士後期課程 音楽専攻 作曲領域 3 年
成 績 内 容	○第 92 回日本音楽コンクール 作曲部門 第 1 位（併せて、三善賞、 <sup>みよし</sup> 明治安田賞、INPEX 賞受賞）
備 考	【日本音楽コンクール】 毎日新聞社と日本放送協会が主催する日本のクラシック音楽のコンクール。1932 年に始まった本コンクールは、戦争中も途切れることなく続いてきており、日本国内における権威と伝統のある音楽コンクールのひとつに数えられ、若手音楽家の登竜門として知られる。

氏 名	滑川 敬一（なめかわ けいいち） <24 歳>
所 属 等	大学院音楽研究科 博士前期課程 音楽専攻 管・打楽器領域 2 年
成 績 内 容	○2023 年度第 34 回日本木管コンクール クラリネット部門 入選 ○2023 年度セントラル愛知交響楽団 オーディション 主に 1 番奏者として合格（現在試用期間中）
備 考	【日本木管コンクール】 加東市、日本木管コンクール理事会及びNPO法人「新しい風かとう」が主催する音楽コンクール。1990 年、旧兵庫県加東郡東条町（現兵庫県加東市）が東条文化会館を建設した際、「東条町から日本全国に向けて文化の発信を」という思いから、第 1 回日本木管コンクール（フルート部門）を開催して誕生。以来、1 年も欠けることなく、毎年フルート部門とクラリネット部門を交互に開催している。  【公益社団法人 セントラル愛知交響楽団】 1983 年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997 年に現名称に改名。2021 年に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。